授業科目	国語表現				平成３０年度 国語科シラバス
学年・コース	３学年	創造文系	単位数	２	
授業内容	◎基礎知識の習得、表現力の養成。 １　記述力の育成。 　根拠をもとに意見を論理的に書くことができるように、設計図を使って書く方法を習得する。 ２　志望理由書の作成。 ３　自己推薦書の作成。面接練習。 ４　様々なテーマ・形式による表現練習。発表練習。 ５　言語知識の習得（漢字・語句・言葉の使い方・文のつながりなど） 　個人やグループなどで発表する場面をたくさん持ち、お互いに評価し合い、いいところを共有し合う。				
到達目標	◎表現力を養う。 　自分の意見を論理的に組み立て、正確に伝える力、相手を説得する力、わかりやすく説明する力、物事をまとめ議論する力を身につける。そのために正しい日本語の知識を習得する。 ◎理解力を養う。 　読んだり聞いたりすることで他者の考えを理解して、自己の考えを深める。 ◎自己を見つめる。 　表現活動を通して、今の自分を振り返り、自分というものを知る。				
評価方法	定期考査・日常の課題の提出や内容の状況、授業時の発表や態度などの取り組み姿勢・出欠状況などを総合的に判断して評価を行う。				
使用教材	教科書　国語表現　（大修館書店） 　　国語表現基礎演習ノート　（大修館書店） 教材プリント				
その他	様々な表現をする活動をできるだけたくさん取り入れていきたいと考えています。ぜひ自己を表現すること、他者を理解することを楽しんでください。				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造文系	国語表現	設計図の書き方の習得					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		記述練習																																				
		志望理由書作成																																				
		面接内容作成・実践練習																																				
		表現・発表演習																																				

授業科目	現代文Ｂ				平成３０年度 国語科シラバス
学年・類（コース）	３学年	創造	単位数	文系２ 理系３	
授業内容	◎豊かな語彙力・的確な読解力、論理的な思考力・表現力の養成。 ・豊かな語彙を身につけ、表現力・文章力に繋げる。 ・評論や随筆を通し、筆者の考えや意図を読み取る力を身につけさせる。 ・自らの主張を明確にし、論理的に他者に伝える表現力を身につけさせる。 ・小説や詩歌を通し、情景描写や表現技法の効果、登場人物の行動と心理の変化を捉えさせる。 ・ICT を活用し、作品を視覚的聴覚的に味わうことで作品への理解を深める。				
到達目標	◎語彙力、読解力、思考力、表現力の向上を図る。 ・ 語彙力・漢字力の向上に努める。漢字検定 3 級以上を目指す。 ・ 難解な評論や長編小説を正確に読解する力を身につける。 ・ 論理エンジンを用いて、自分の思いや考えを論理的に表現する力をつける。 ・ 人物の性格・心理・思想と作品の構成、表現方法の特徴を理解する。 ・進路に対応した国語力をつける。				
評価方法	以下の事項を総合的に検討して評価する。 定期考査・課題の提出・ノート点検・小テスト、朝の漢字テスト・ 出欠状況・授業での取り組む姿勢や態度				
使用教材	教科書　「精選現代文Ｂ」（東京書籍） 副教材　「論理エンジン 0S2」水王社 「セレクト漢字検定」桐原書店 「クリアカラー国語便覧」数研出版 「三訂版　現代文　マーク完答２４」（尚文出版）７限クラスのみ 「大学入試国語頻出問題１２００」（いいずな書店）７限クラスのみ				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・組	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造	現代文	詩歌	竹･永訣の朝		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験										
		表現	指示語･接続語			■	■																																
			文と文･要点				■		■																														
		評論	言語と記号								■	■																											
			漢字学習									■	■																										
		随想	猫のしあわせ																■	■																			
		表現	話題と主張																	■	■	■																	
		小説	舞姫																						■	■	■	■											
			実用漢字																										■										

授業科目	選択　現代文				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	３学年	創造文系選択者	単位数	２	
授業内容	◎国語に関する基礎知識・読解の基本を徹底的に練習する。 ・プリントを利用し、国語力を支える基礎的事項を習得する。 　漢字の読み書き、四字熟語、類義語・対義語、言葉の意味と使い方など ・評論・小説・随筆の問題演習を通して、具体と抽象の関係、対比関係、 指示語・接続語などに着目して読解していく練習をする。 ・進路に関連した面接練習を行う。				
到達目標	・基礎的な漢字力・語彙力を身につける。 ・口語文法や基本的な言葉の使い方の決まりを身につける。 ・基本を活かした文章読解力を養う。 ・進路に応じた自己ＰＲ・面接の基本を習得する。				
評価方法	定期考査・小テスト・日常の課題の提出や内容の状況、授業時の発表や態度などの取り組み姿勢・出欠状況などを総合的に判断して評価を行う。				
使用教材	教材プリント				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造文系	選択現代文	漢字語句の演習					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		評論読解演習																																				
		小説読解演習																																				
		面接内容作成・実践練習																																				

授業科目	古典Ｂ				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	３学年	創造	単位数	３単位 （理７は２）	
授業内容	◎基礎知識の習得、読解力の養成。 ＜古文＞ ・古文の基礎知識（単語・文法など）を習得する。 ・作品の内容を的確に捉える。 ・古典の表現の面白さや工夫を理解する。 ・登場人物の心情をつかむ。 ・文法に忠実な口語訳をおこない、基礎読解力を身につける。 ・古文に関する親しみや興味・関心を高める。 ＜漢文＞ ・漢文の基礎知識（句法など）を習得する。 ・作品の内容を的確に捉える。 ・古典の表現の面白さや工夫を理解する。 ・登場人物の心情をつかむ。 ・句法に忠実な書き下しと口語訳をおこない、基礎読解力を身につける。 ・漢文に関する親しみや興味・関心を高める。 （理系は２単位なので選択して進める）				
到達目標	・古文漢文の基礎知識の習得。 ・文法や句法に則った口語訳。				
評価方法	・定期試験・・・内容の理解・文法・文章理解 ・定期考査・小テスト・課題・ノートの提出や内容、出欠状況などを総合的に判断して評価を行う。				
使用教材	教科書　『精選古典Ｂ』　古文編　（東京書籍） 『精選古典Ｂ』　漢文編　（東京書籍） 副教材　『古典単語と一緒に学ぶこれからの古典文法』（尚文出版） 『新明説漢文』（尚文出版） 『国語マーク完答３２』（尚文出版）…７限のみ 『大学入試　国語頻出問題 1200 三訂版』（いいずな書店）…７限のみ				
その他					

	古典B			4月			5月			6月			7月		8月	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造	古文	軍記物語	平家物語					一学期中間					一学期期末							二学期中間					二学期期末									学年末考査		
		物語	大鏡																																	
	漢文	史記	項羽・劉邦																																	
		詩	唐詩																																	
		十八史略	十八史略																																	

授業科目	世界史Ｂ				平成 30 年度 社会科シラバス
学年･コース	学年	3年創造	単位数	4	
授業内容	教科書を中心として図表や資料等を適時導入しながら、世界の歴史への関心・意欲を喚起させ、世界の中の日本という意識を高めさせる。政治・経済との関連にも配慮をし、民族や国家の活動を学びながら、基本的な歴史事項を理解させる。 近世以降を，地域史を中心に展開し、さらに大航海時代以降のグローバル化による各地域間の交流の活発化にも注目し、世界の一体化が進んでいく過程を理解させる。さらに、近世以降のヨーロッパ人の進出があたえた影響に注目し、その中で、日本とのかかわりや、日本の位置づけを意識させる。 また、近現代以降，産業革命の進展による、資本主義の歴史とその中で展開された各国間の対立を中心に理解させながら、世界全体を巻き込んだ二度の世界大戦やその後の冷戦について考えさせる。また、その中での日本の歩んだ歴史についても理解させる。 そのうえで，各地域と現代世界の特質について、諸資料に基づいて考察させることによって，歴史的思考力を培い，それに基づいた判断力や表現力を身に付けさせ、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 また、受験に対応するため、基礎事項の定着を図り、センター試験や私立大学の一般入試に対応する。				
到達目標	基本的な歴史事項を理解したうえで、諸資料を基づいて、自ら考え、判断し、評価する。他国や他地域の歴史を理解し，自国と世界とのかかわりを学び，日本の歴史や文化をより客観的に見る目を養う。				
評価方法	定期考査（70%）、提出物、授業ノート、小テスト等（30%）を加味し、評価をする。				
使用教材	詳説世界史Ｂ　〈山川出版〉 詳説世界史図録〈山川出版〉 世界史用語集〈山川出版〉 世界史重要語句 Check List〈啓隆社〉 地歴高等地図〈帝国書院〉				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造	世界史Ｂ	第Ⅱ部	ヨーロッパ世界の形成と発展		■	■	■	1学期中間					1学期期末試験										2学期中間						2学期末										
			内陸アジア世界・東アジア世界の展開				■		■																														
			第Ⅱ部　まとめ						■																														
		第Ⅲ部	アジア諸地域の繁栄						■	■																													
			近世ヨーロッパ世界の形成							■	■																												
			近世ヨーロッパ世界の展開									■																											
			近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立									■			■																								
			欧米における近代国民国家の発展												■				■																				
			アジア諸地域の動揺																■																				
			第Ⅲ部　まとめ																■																				
		第Ⅳ部	帝国主義とアジアの民族運動																	■	■																		
			二つの世界大戦																		■	■		■															
			冷戦と第三世界の独立																					■	■														
			現在の世界																						■	■													

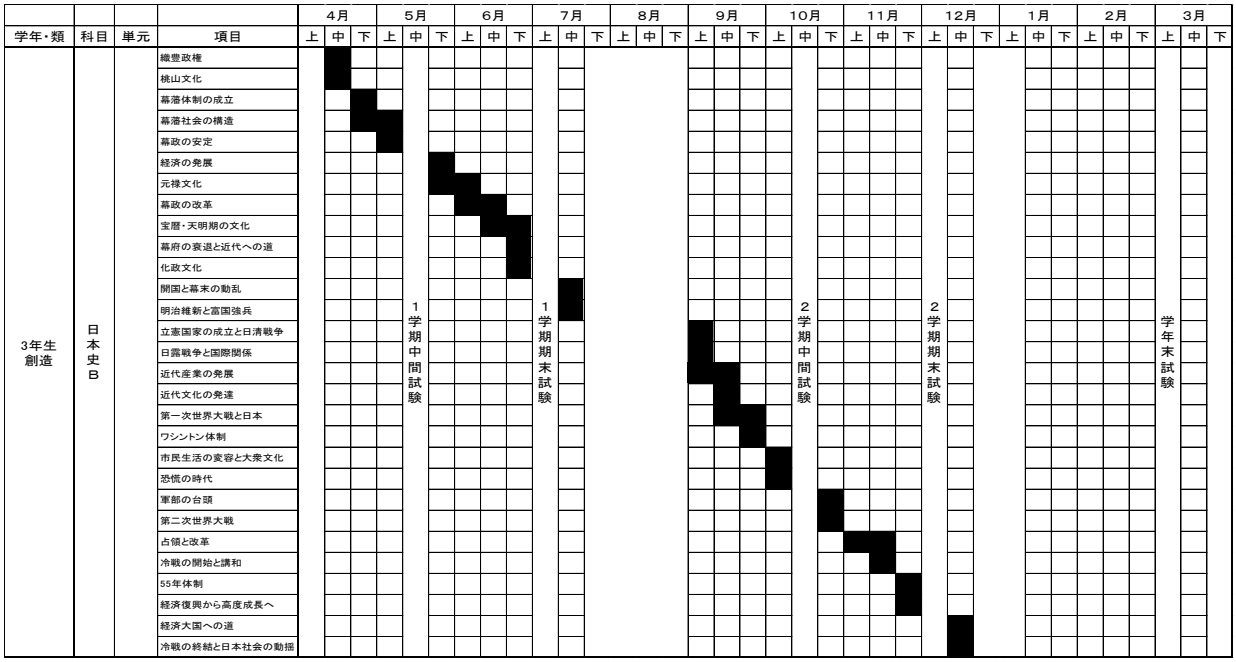
授業科目	世界史演習				平成 30 年度 社会科シラバス
学年・コース	3学年	創造	単位数	3	
授業内容	教科書を中心として図表や資料等を適時導入しながら、世界の歴史への関心・意欲を喚起させ、世界の中の日本という意識を高めさせる。政治・経済との関連にも配慮をし、民族や国家の活動を学びながら、基本的な歴史事項を理解させる。 中世以降を，地域史を中心に展開していきながら、各地域が成熟していく過程で、その領域がそれぞれに拡大していく中で、各地域がどのような交流をしてきたのかという事を考察させながら、進めていく。 そのうえで，各地域と現代世界の特質について、諸資料に基づいて考察させることによって，歴史的思考力を培い，それに基づいた判断力や表現力を身に付けさせ、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 また、受験に対応するため、センター試験から国公立大学の二次試験にまで対応するため、基礎事項の定着だけでなく、自らの知識をもとに歴史事象について考え、表現する力を養う。				
到達目標	基本的な歴史事項を理解したうえで、諸資料を基づいて、自ら考え、判断し、評価する。他国や他地域の歴史を理解し，自国と世界とのかかわりを学び，日本の歴史や文化をより客観的に見る目を養う。				
評価方法	定期考査（70%）、提出物、授業ノート、小テスト等（30%）を加味し、評価をする。				
使用教材	詳説世界史Ｂ　〈山川出版〉 詳説世界史図録〈山川出版〉 世界史用語集〈山川出版〉 世界史重要語句 Check List（啓隆社） 地歴高等地図〈帝国書院〉 チェック＆演習世界史Ｂ				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造	世界史演習		ヨーロッパ世界の形成と発展																																				
			内陸アジア世界・東アジア世界の展開																																				
			第Ⅱ部　まとめ																																				
		第Ⅲ部	アジア諸地域の繁栄																																				
			近世ヨーロッパ世界の形成																																				
			近世ヨーロッパ世界の展開																																				
			近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立																																				
			欧米における近代国民国家の発展																																				
			アジア諸地域の動揺																																				
			第Ⅲ部　まとめ																																				
		第Ⅳ部	帝国主義とアジアの民族運動																																				
			二つの世界大戦																																				
			冷戦と第三世界の独立																																				
			現在の世界																																				

1学期中間　1学期期末試験　2学期中間　2学期末

授業科目	日本史B				平成 30 年度 社会科シラバス
学年･コース	3 学年	創造	単位数	4	
授業内容	・「近世の日本と東アジア」では、織豊政権から江戸時代までを扱い、大航海時代から始まる南蛮文化の伝播における日本国内の変化、また鎖国政策に至る経緯と鎖国中の国内の動きや文化を資料中心に当時の時代背景を考察させる。 ・「近代・現代の日本と東アジア」では、幕末から現代までを扱い、欧州における産業革命とそれに伴う開国以降の爆発的な海外文化の流入で国内が大きく変化し、太平洋戦争に至るまでの国内外の変化を考察させる。また、戦後の国内外の関係を現在と比較させながら考察させる。				
到達目標	我が国の歴史展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて多角的に考察させる。また、現在まで続く伝統や文化への認識を重視させることによって、歴史的な思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民として、正しい判断力を養う。				
評価方法	定期考査を８割、授業態度、提出物等の平常点を２割として評価をする。				
使用教材	教科書：詳説　日本史Ｂ　（山川出版社） 資料集：図説日本史通覧　（帝国書院） 地図帳：地歴高等地図　（帝国書院）				
その他					

●授業進度表



授業科目	日本史演習				平成 30 年度 社会科シラバス
学年・コース	学年	3 学年　　創造文系	単位数	3	
授業内容	海外列強によって鎖国を行っていた江戸幕府が崩され、新たに明治政府が政治を行っていくことになった。国際的な交流が増えていく中で、海外諸国に対応する様々な国内・外交政治を行っていく近現代史について、現代社会に与える影響を考察していく。 「近代国家の成立」…国際社会に巻き込まれていくという環境の変化に注目していく。その中で開国による政治体制や文化の変化、近代産業の発展などを理解する。 「二つの世界大戦とアジア」…二つの世界大戦が勃発し日本が巻き込まれることで民衆の生活、アジアにおける日本の外交体制にも変化が現れる。そして国際環境の変化や恐慌によって日本が戦争へ進み、敗戦することにつながっていくことを理解する。				
到達目標	知識：現代社会に通じる文化や社会体制などの基礎的要素について、興味関心が持てるようになり、理解が深くなること。 技能：国際的に海外との関連が多くなることで生じてくる歴史的課題について、自主的に考察していくこと。				
評価方法	定期考査を 8 割、授業態度、提出物の平常点を 2 割として評価をする。				
使用教材	教科書：詳説日本史Ｂ　改訂版（山川出版） 資料集：図説日本史通覧　（帝国書院） 地図帳：地歴高等地図　（帝国書院）				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3学年	日本史演習	第9章	近代国家の成立					1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み						2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み						学年末試験		
		第10章	二つの世界大戦とアジア																																				

授業科目	地理A				平成30年度 社会科シラバス
学年・コース	3学年	創造	単位数	2	
授業内容	①教科書における「地誌」と「現代社会の諸問題」の分野を扱う。 ②地図帳・資料集にチェックや書き込みをする。 ③新聞記事等の教材を使って、時事問題と地理的事象との関連性を学ぶ。 ④単元ごとに、重要事項についての小テストを行う。 ⑤適宜、課題を出す。 ⑥センター試験に向けた問題演習をする。				
到達目標	①地理に関する基礎知識を身に着ける。 ②地理的な事象について、その要因を地形・気候など地理的視点から理解できるようになる。 ③現代社会のもつ問題を知り、その原因を地理的な視点から考察できるようになる。 ④地図やデータの読み取りができるようになる。				
評価方法	各定期考査を中心に、授業の取組等を考慮する。 定期考査（８割）・平常点（２割）				
使用教材	教科書　『新詳 地理Ａ』（帝国書院） 『新詳 高等地図』（帝国書院） 副教材　『新詳地理資料　ＣＯＭＰＬＥＴＥ』（帝国書院） 『データブック オブ・ザ・ワールド』（二宮書店）				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造	地理A	人間生活を取り巻く環境	世界の工業・生活と文化		■	■	■																																
		世界の諸地域の生活・文化	中国				■		■																														
			韓国						■	■																													
			東南アジア						■	■	■																												
			南アジア							■	■	■																											
			中央・西アジア・北アフリカ								■	■		■																									
			サハラ以南のアフリカ									■		■					■																				
			ヨーロッパ											■					■	■																			
			ロシア																■	■	■																		
			アングロアメリカ																	■	■	■																	
			ラテンアメリカ																		■	■			■														
			オーストラリア																			■			■	■													
		地球的課題と私たち	環境問題																						■	■	■												
			資源・エネルギー問題																							■	■	■											
			人口問題																								■	■		■									
			食糧問題																									■		■			■						
			都市・居住問題																											■			■	■					

授業科目	政治経済				平成 30 年度 社会科シラバス
学年・コース	3学年	創造	単位数	2	
授業内容	・資本主義経済制度や現代の資本主義の特徴について学習する。 ・現代の経済のしくみに理解する 戦後の日本経済の移り変わりを見るとともに、経済の諸課題を考える。 ・国際経済のしくみ・動向・課題や国際経済における日本の役割・課題について見ていく。 ・現代社会の諸課題を基本的な内容と課題を明確にする。 ・センター試験対策の演習問題を行なう。				
到達目標	政治・経済に関する知識を体系的に理解する。 民主主義・人権思想から、政治制度や動きを理解する。 市場経済・資本主義から、経済や政府の動きについて理解する。 国際関係について理解し、グローバル化の動きを政治と経済からとらえる				
評価方法	定期考査の点数を中心に平常点を加えて成績評価とする。 平常点は授業への取り組み，課題，提出物等を評価する。 定期考査（８割）・平常点（２割）				
使用教材	教科書　『高等学校 改訂版 政治・経済』（第一学習社） 副教材　『政治・経済資料 2018』（とうほう） 『用語集　政治・経済』（清水書院） 『ベストセレクション センター試験　政治・経済　重要問題集』（実教出版）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造	政治経済	民主政治の基本原理と日本国憲法	選挙制度・世論	■				1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		現代の国際政治と日本	国際社会と国際法	■	■																																		
			国際連合の組織と役割		■	■																																	
			国際政治の動向			■	■																																
			国際紛争と難民問題			■	■																																
			軍備管理と軍縮				■		■																														
			日本の外交と国際平和への役割						■																														
		現代経済のしくみと特質	経済社会の発展						■	■																													
			経済主体と経済活動							■																													
			市場経済の機能と限界							■	■																												
			経済成長と景気変動								■	■																											
			物価の動き								■	■																											
			金融のしくみとはたらき									■		■																									
			財政のしくみとはたらき											■						■																			
			日本経済の歩み																	■	■																		
			中小企業の地位と役割																	■	■	■																	
			農業の現状と課題																		■	■	■																
			消費者問題																			■	■																
			高度情報社会の進展と課題																				■		■														
			労働問題																				■		■	■													
			社会保障制度の充実																						■	■													
			環境保全と資源・エネルギー問題																							■	■												
		国民経済と国際経済	国際経済のしくみ																								■	■											
			国際協調と国際経済機関の役割																								■	■											
			地域的経済統合																									■											
			グローバル経済・南北問題																									■											
		現代社会の諸課題																											■										

授業科目	数学Ⅰ				平成 30 年度 数学科シラバス
学年・コース	3 学年	創造・文系	単位数	2	
授業内容	数学Ⅰおよび数学Ａを中心とした範囲の基本的な問題を使用して，１年で学習した内容についての総復習を行う。 ひと通り項目別の復習を行った後，複数の科目・単元にわたる内容を含む問題を使用して，総合的に問題を捉えていく練習をする。				
到達目標	1 年で学習した内容の定着および就職・看護・技術系専門学校の入社・入試を中心とした試験問題に対応できる程度を目標とする。				
評価方法	定期試験および授業中の小テスト・課題の提出状況・授業に取り組む姿勢で評価をする。				
使用教材	10 日あればいい！2018 大学入試短期集中ゼミ基礎からの数学Ⅰ+A　express				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造コース 文系	選択 数学Ⅰ		数・整式・無理数の計算					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験											
			割合																																				
			乗法公式・因数分解																																				
			方程式・不等式																																				
			連立方程式・不等式																																				
			面積・体積																																				
			図形																																				
			個数・確率																																				
			数列																																				

授業科目	数学Ⅱ				平成 30 年度 数学科シラバス
学年・コース	3学年	創造理系・6 限 創造理系・7 限 創造文系・7 限	単位数	2	
授業内容	１・２年次に学習した数学Ⅰ・Ⅱの基本事項の定着および大学入試基礎力獲得のための入試（模試）実践問題演習。 ■10 日あればいい！2018 大学入試短期集中ゼミ基礎からの数学Ⅰ+A express Ⅰ+A 範囲を演習 1 年次に行った内容を 1 単元ずつ確認・復習し、基礎学力の定着を図る。 その応用として、模擬試験や入試問題を活用し、応用力をつける。 適宜、補助教材を使用する。補助教材は自学課題とすることがある。				
到達目標	数学Ⅰ+A の基礎学力の定着を図るとともに実践力を習得する。また，演習問題を通して出題の本質を理解し、自ら考え工夫する力を付ける。				
評価方法	小テストや定期試験、提出物を総合的に判断する。				
使用教材	10 日あればいい！2018 大学入試短期集中ゼミ基礎からの数学Ⅰ+A　express				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造 理系	数学Ⅱ	総復習	ⅠAⅡBの センター演習					1 学 期 中 間 試 験					1 学 期 期 末 試 験			夏休み						2 学 期 中 間 試 験						2 学 期 期 末 試 験			冬休み									学 年 末 試 験		

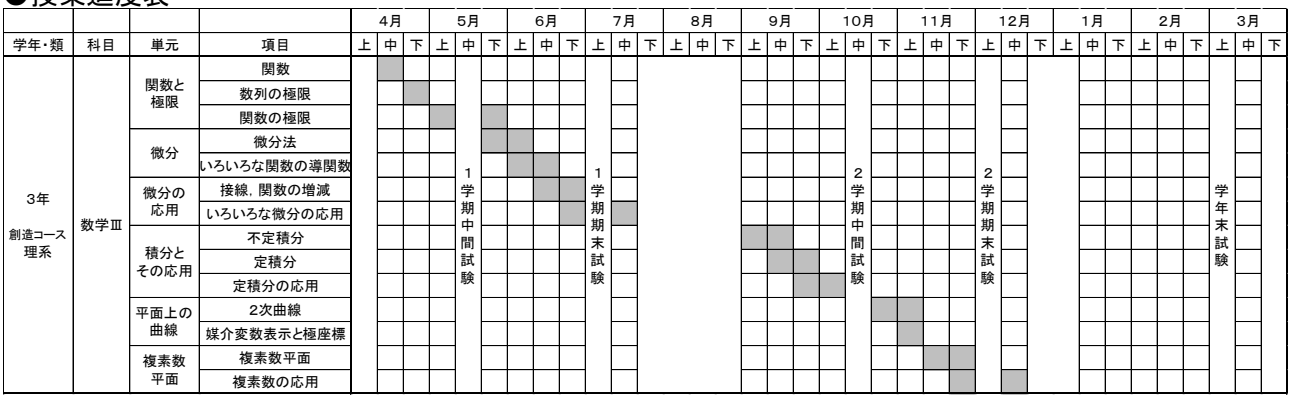
授業科目	数学Ⅱ＋数学B				平成 30 年度 数学科シラバス
学年･コース	3学年	創造･理系	単位数	5	
授業内容	数学Ⅱ（３単位、105 時間)、数学Ｂ（２単位、70 時間）として実施する。 数学Ⅰ・Ａ・Ⅱ・Ｂにおけるセンター形式での問題をまずは基礎～標準レベルで演習していく。やや難しい考察が必要な問題も行いつつ、満遍なく学習していく。 適宜、センター試験の過去問題や大学入試問題についても行っていく。				
到達目標	１・２年で学習した内容の定着およびセンター入試を中心とした入試問題に対応できる程度を目標とする。				
評価方法	定期試験および授業中の確認テスト・小テスト・課題の提出状況・授業に取り組む姿勢で評価をする。				
使用教材	センター攻略　PickUp120　数学Ⅰ＋A、Ⅱ＋B（東京書籍） プリント教材				
その他					

進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造 理系	数学Ⅱ+B	総復習	ⅠAⅡBの センター演習					1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み							2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み							学年末試験		

授業科目	数学Ⅲ				平成 30 年度 数学科シラバス
学年･コース	3 学年	創造	単位数	5	
授業内容	第１章　平面上の曲線（放物線/楕円/双曲線） ２次曲線の定義や基本的な性質（焦点、概形や平行移動）について学び、 ２次曲線と直線の交点や接線を求める。 媒介変数表示と極座標 曲線の媒介変数表示や極座標表示など、曲線や座標がいろいろな形で表現できることを理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにする 第２章　複素数平面（複素数平面/極形式/ド・モアブルの定理） 複素数を極形式で表し、積や商の意味を複素数平面を通して理解し、絶対値が１の複素数を掛けることは、図形的には回転移動になることを理解する。また、ド・モアブルの定理を導き、簡単な二項方程式が解けるようにする。 第３章　関数と極限 関数の概念を復習し、分数関数や無理関数、逆関数、合成関数などを学び、その性質やグラフの概形などを考察する。無限級数の概念と極限を表す記号limを用いて、いろいろな極限について学び、無限級数の性質やその和を調べる。また、極限を考え、関数の収束・発散・連続性などを調べ関数と極限について考察する。 第４章・第５章　微分法・微分法応用 積，商，合成関数の微分法について学び，様々な関数の導関数を求められるようにする。また，高次導関数について学ぶ。微分法を用いて関数値の増減やグラフの凹凸などを考察し，微分法の有用性を認識するとともに，具体的な事象の考察に活用できるようにする。 第６章　積分法とその応用 基本的な関数の不定積分や置換積分法，部分積分法について学び，様々な関数の不定積分が求められるようにする。また、定積分の概念を理解し，その有用性を認識するとともに，図形の求積や曲線の長さを求めるこのなどに活用できるようにする。				
到達目標	微分法，積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを活用する中で，課題に対するアプローチを判断する能力を養う。				
評価方法	定期考査，実力テスト，授業中の確認テストなどで到達度を問う。また，課題提出，授業への取り組みなども考慮し総合的に評価する。				
使用教材	教科書：「数学Ⅲ」（東京書籍）副教材：「アシストセレクト数学Ⅲ」（東京書籍）				
その他					

●授業進度表



授業科目	数学B				平成 30 年度 数学科シラバス
学年・コース	3学年	創造・文理 7 限	単位数	2	
授業内容	１年時に数学の内容を復習し、発展させ、入試問題への対応を意識した問題による演習を実施。 ■ランダム演習数学Ⅰ+A 応用編を演習 数学Ⅰ+A のすべての範囲の演習。問題集がランダムに配列してあるため、適宜補充プリントを使用。 また、模擬試験や入試問題も扱う。				
到達目標	数学Ⅰ+A の内容のさらなる理解およびその活用をめざす。 総復習により，総合的に物事を捉え活用できるようにする。				
評価方法	定期試験および授業中の確認テスト・課題の提出状況・授業に取り組む姿勢で評価をする。				
使用教材	ランダム演習数学Ⅰ+A 応用編（数研出版） プリント教材				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造 文系 理系	数学B	総復習	ⅠAⅡBの センター演習					1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み							2学期中間試験					2学期期末試験			冬休み							学年末試験		

授業科目	数学B				平成 30 年度 数学科シラバス
学年・コース	3学年	創造理系・6 限	単位数	2	
授業内容	１年時に数学の内容を復習し、発展させ、入試問題への対応を意識した問題による演習を実施。 ■ランダム演習数学Ｉ+A 応用編を演習 数学Ｉ+A のすべての範囲の演習。問題集がランダムに配列してあるため、適宜補充プリントを使用。 また、模擬試験や入試問題も扱う。				
到達目標	数学Ｉ+A の基礎学力の定着を図るとともに実践力を習得する。また，演習問題を通して出題の本質を理解し、自ら考え工夫する力を付ける。				
評価方法	定期試験・授業中の試験・課題の提出状況・授業に取り組む姿勢で評価をする。特に提出物（内容を重視）は大きく評価をする。章ごとのテストも評価する。				
使用教材	ランダム演習数学Ｉ+A 標準編（数研出版） プリント教材				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造 理系	数学B	総復習	ＩＡⅡＢの センター演習					1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み							2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み									学年末試験		

授業科目	物理				平成 30 年度 理科シラバス
履修学年・コース	3 学年	創造コース	単位数	4	
授業内容	1　波 ・波の伝わり方として，ホイヘンスの原理，水面波の反射・屈折及び屈折率について理解する。また，波の表し方として，波の式及び位相について理解する。 ・音源や観測者が同一直線上を動いているときに観測されるドップラー効果について理解する。 ・光の反射，屈折，分散，偏光，速さ，波長などについて，観察，実験を通して理解する。 2　電気と磁気 ・静電気の現象について理解を深め、万有引力のところで学んだ「場」の考え方を電界・電位についても扱うことができるようにする。 ・コンデンサー回路を重点的に扱う。 ・電流では、電子運動論からオームの法則を考察する。 ・キルヒホッフの法則を重点的に扱い、複雑な電流回路についても考察できるようにする。 ・磁気の現象・性質について学習し、静電気で学んだ電界や電気力線などと類似していることに気付くことで電磁気現象への視野を広げる。 ・右ねじの法則, フレミングの法則など電流と磁場の関係について重点的に扱う。 ・ローレンツ力の学習を通じて微視的な世界と巨視的な世界の関連付けができるようにする。 3　原子 ・電子と光については、光の粒子性、物質波について重点的に扱う。 ・原子と原子核では、放射線とその性質について重点的に学習し、核エネルギーと科学的に向き合い、日常生活を見つめ直す機会をつくる。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・日常に生起する諸現象を眺めることによって視野を広め、物理現象の理解を深めること。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は主として定期考査から、関心・意欲・態度は主として定期考査以外の内容から判断する。その際、定期考査とそれ以外の比率を決めるなどして担当者によって差がでないよう考慮して評価する。				
使用教材	教科書：物理（数研出版）　副教材：リードα物理（数研出版）　物理図録（数研出版）				

● 授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造コース	物理	波	波の伝わり方					1学期中間試験					1学期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			音の伝わり方																																				
			光																																				
		電気と磁気	電場																																				
			電流																																				
			電流と磁場																																				
			電磁誘導と電磁は																																				
		原子	電子と光																																				
			原子と原子核																																				

授業科目	化学基礎				平成 30 年度 理科シラバス
履修学年・コース	2 学年	創造コース	単位数	2	
授業内容	1　物質の変化（酸と塩基） ・中和反応 ・塩の生成，塩の分類(正塩・酸性塩・塩基性塩)，塩の水溶液の性質 ・中和の条件；酸の価数×酸の物質量=塩基の価数×塩基の物質量(酸から生じる H^+の物質量=塩基から生じる OH^-の物質量) ・中和滴定と操作，標準溶液，中和点，中和滴定に使用する器具 ・滴定曲線の種類(強酸・強塩基，弱酸・強塩基，強酸・弱塩基），中和滴定に使用する器具，指示薬の選択，安全ピペッター 2　酸化還元反応 ・酸素の授受と酸化還元，酸化された，還元された ・水素の授受と酸化還元，酸化された，還元された ・銅と酸素・塩素との反応により酸化還元を電子の授受で説明 ・酸化数の定義と決め方，酸化数の変化と酸化・還元 ・酸化剤と還元剤の定義と代表例の反応式 ・電子を含むイオン反応式のつくり方 ・半反応式から e^-を消去し電荷を 0 にする ・酸化還元滴定，酸化剤が受け取った電子の物質量=還元剤が放出した電子の物質量 ・イオン化傾向(水溶液中で電子を放出して陽イオンになろうとする性質)，金属樹，イオン化列 ・水との反応，酸との反応，酸化力をもつ酸との反応，王水，空気との反応，イオン化列と反応性，不動態				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・日常に生起する諸現象を眺めることによって視野を広め、化学現象の理解を深めること。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は主として定期考査から、関心・意欲・態度は主として定期考査以外の内容から判断する。その際、定期考査とそれ以外の比率を決めるなどして担当者によって差がでないよう考慮して評価する。				
使用教材	教科書：新編　化学基礎（東京書籍）				

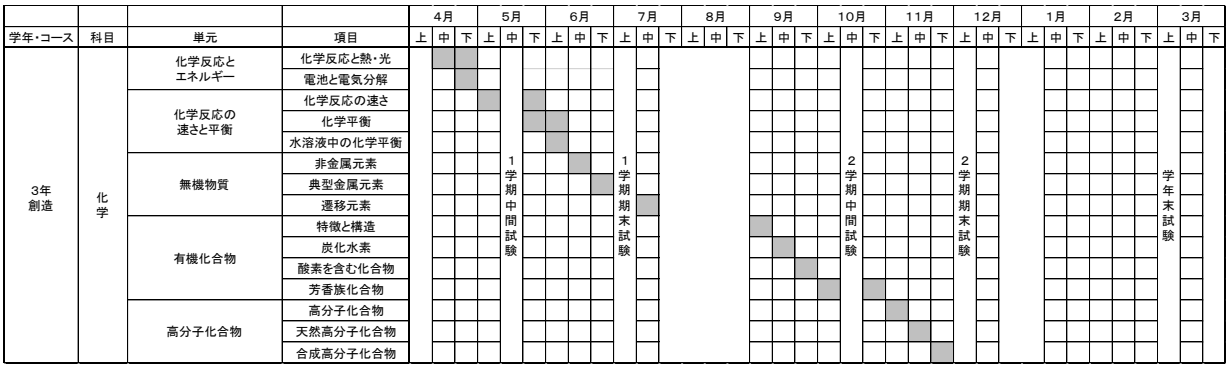
● **授業進度表**

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造コース	化学基礎	酸と塩基	中和反応と塩					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			中和滴定																																				
		酸化還元反応	酸化と還元																																				
			酸化剤と還元剤																																				
			金属の酸化還元反応																																				
			酸化還元反応の応用																																				
		物質の構成・変化	化学基礎全体																																				

授業科目	化学				平成30年度 理科シラバス
学年･コース	3 学年	創造コース	単位数	5	
授業内容	１．化学反応におけるエネルギーの出入りについて ２．有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、有機化合物の基本的な化合物である炭化水素および酸素を含む有機化合物について ３．物質の状態と気体の性質について				
到達目標	・　化学反応におけるエネルギーの出入りについてりかいする ・　有機化合物の性質・構造を理解し、分類や分析のしかたを学ぶ ・　鎖式炭化水素・脂環式炭化水素の構造と性質を学ぶ ・　酸素を含む有機化合物の構造や性質を学ぶ ・　物質の状態変化について学ぶ ・　気体の体積・圧力・温度の関係について学ぶ ・　私立大・センター試験レベルの問題を解く力をつけること				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は定期考査から、関心・意欲・態度は定期考査以外の内容から判断する。				
使用教材	化学　東京書籍 ニューステップアップ　東京書籍				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造	化学	化学反応とエネルギー	化学反応と熱		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験										
			熱化学方程式			■	■																																
			結合エネルギー						■																														
		有機物質	有機化合物基礎							■																													
			脂肪族化合物								■	■		■																									
			酸素を含む有機化合物																■	■	■																		
		物質の状態	物質三態																			■																	
			気体の性質																						■	■	■												
		センター対策	化学基礎の内容																								■		■										

授業科目	化学				平成 30 年度 理科シラバス
学年・コース	3 学年	創造（7 限）・理系	単位数	4	
授業内容	第２編　化学反応とエネルギー　　第３編　化学反応の速さと平衡 化学反応に伴うエネルギーの出入り，反応速度及び化学平衡から化学反応に関する概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 第４編　無機物質 無機物質の単体と化合物の性質や反応を、元素の性質が周期表に基づき整理できることを理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 第５編　有機化合物 有機化合物の性質、反応、分類と特徴を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 第６編　高分子化合物 高分子化合物の性質、反応及び合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。				
到達目標	・　物質の三態のエネルギー状態や結合について学び、自然現象について考察できる力をつけること。 ・　無機，有機化合物の性質を学ぶことにより、身のまわりの物質や化学現象の理解を深めること。 ・　私立大・センター試験レベルの問題を解く力をつけること				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は定期考査から、関心・意欲・態度は定期考査以外の内容から判断する。				
使用教材	化学　東京書籍 ニューステップアップ化学　東京書籍				



授業科目	生物基礎				平成 30 年度 理科シラバス
学年･コース	3学年	創造･文系	単位数	2	
授業内容	第１部生物の特徴 生物の多様性と共通性の視点を身につけ，生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び，生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 第２部 遺伝子とその働き 生物と遺伝子について観察，実験などを通して探究し，細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解する。 第３部 生物の体内環境の維持 生物の体内環境の維持について観察，実験などを通して探究し，生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ，体内環境の維持と健康との関係について認識する。 第４部 生物の多様性と生態系 生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について認識する。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。 ・センター試験レベルに止まらず私立大学の入試問題を解く力をつけること。				
評価方法	下記の(1)～(5)の項目を評価し、各学期の成績は総合的に判断します。 **(1)授業への取り組み**　授業に対する姿勢，学習態度，生物への関心などで判断する。 **(2)ノートの記載内容**　授業内容を適切にまとめているか，科学的な思考ができているかなどを評価する。 **(3)観察･実験等**　観察･実験等を行い，レポートを書く。観察･実験に対する姿勢，予想や考察，器具の操作，報告書などから評価する。 **(4)教科書･問題集の問題**　各問題への取り組み，取り組んだ内容から評価する。 **(5)中間･定期考査**　学習内容に合わせて問題を出題する。				
使用教材	教科書　生物基礎　東京書籍 副教材　レッツトライノート　東京書籍　スクエア最新図説生物　第一学習社 チェック＆演習　生物基礎　数研出版				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造 文系	生物基礎	生物と遺伝子	生物の特徴					1学期中間試験					1学期期末試験	＊					＊				2学期中間試験					2学期期末試験	＊			＊					学年末試験		
			遺伝子とそのはたらき																	＊	＊												＊	＊						
		生物の体内環境の維持	生物の体内環境																			＊	＊												＊	＊			
		生物の多様性と生態系	植生の多様性と分布																						＊	＊	＊										＊		
			生態系とその保全		＊	＊	＊		＊	＊	＊	＊																											

授業科目	生物				平成 30 年度 理科シラバス
学年･コース	3学年	創造･理系	単位数	4	
授業内容	第３部 生物の環境応答 環境の変化に生物が反応していることについて観察，実験などを通して探究し，生物個体が外界の変化を感知し，それに反応する仕組みを理解する。 第４部 生物の進化と系統 生物の進化の過程とその仕組みおよび生物の系統について，観察，実験などを通して探究し，進化についての考え方を身に付け，生物の多様性と系統を理解する。 第５部 生態と環境 生物の個体群と群集および生態系について観察，実験などを通して探究し，それらの構造や変化の仕組みを理解し，生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。 ・センター試験レベルに止まらず大学の二次試験問題を解く力をつけること。				
評価方法	下記の(1)～(5)の項目を評価し、各学期の成績は総合的に判断します。 **(1)授業への取り組み**　授業に対する姿勢，学習態度，生物への関心などで判断する。 **(2)ノートの記載内容**　授業内容を適切にまとめているか，科学的な思考ができているかなどを評価する。 **(3)観察･実験等**　観察･実験等を行い，レポートを書く。観察･実験に対する姿勢，予想や考察，器具の操作，報告書などから評価する。 **(4)教科書･問題集の問題**　各問題への取り組み，取り組んだ内容から評価する。 **(5)中間･定期考査**　学習内容に合わせて問題を出題する。				
使用教材	教科書　生物　東京書籍 副教材　レッツトライノート　東京書籍 スクエア最新図説生物　第一学習社 チェック＆演習　生物　数研出版				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造 理系	生物	生命現象と物質	細胞と分子					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験			＊	＊		2学期期末試験									学年末試験		
			代謝																							＊	＊												
			遺伝情報の発現																							＊	＊												
		生殖と発生	生殖と発生																							＊	＊												
		生物の環境応答	動物の反応と行動		＊	＊	＊		＊					＊												＊	＊												
			植物の環境応答								＊	＊	＊													＊	＊												
		生態と環境	生物群集と生態系																＊	＊						＊	＊												
		生物の進化と系統	生命の起源と進化																		＊	＊				＊	＊												
			生物の系統																					＊	＊	＊	＊		＊											

	体育				平成 30 年度 シラバス
履修　類・学年	全コース	3年男子	単位	3	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・選択：サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、 バスケットボール、卓球 自己の関心、能力等に基づいて運動や課題を選択し、運動の行い方を工夫してゲームをする。集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	・関心、意欲、態度　・思考判断　・技能　・知識理解				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年男子	体育	集団行動	姿勢、方向転換					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散																																			
		体カづくり	体ほぐしの運動																																			
			体力を高める運動																																			
		球技	基本的技能の復習																																			
			発展練習																																			
		陸上	基礎・基本的な運動																																			
			合理的な運動																																			
		ダンス	簡単なコンビネーション																																			
			創作ダンス																																			
		体育理論	合理的な運動を学習する																																			
			練習方法や必要な体力																																			
			生涯スポーツの意味																																			

授業科目	体育				平成 30 年度 シラバス
履修　類・学年	全コース	3年女子	単位	3	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・選択：サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、 バスケットボール、卓球 自己の関心、能力等に基づいて運動や課題を選択し、運動の行い方を工夫してゲームをする。集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	・関心、意欲、態度　・思考判断　・技能　・知識理解				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年女子	体育	集団行動	姿勢、方向転換					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散																																			
		体カづくり	体ほぐしの運動																																			
			体力を高める運動																																			
		球技	基本的技能の復習																																			
			発展練習																																			
		陸上	基礎・基本的な運動																																			
			合理的な運動																																			
		ダンス	簡単なコンビネーション																																			
			創作ダンス																																			
		体育理論	合理的な運動を学習する																																			
			練習方法や必要な体力																																			
			生涯スポーツの意味																																			

	選択体育				平成 30 年度 シラバス
履修　類・学年	創造コース	3年男女	単位	2	
授業内容	下記のような進路を希望する生徒を対象とする授業をおこなう 《卒業後の進路》体育系大学・専門学校、スポーツ推薦による進学、実業団への就職 ↓ 体育教師・トレーナー・スポーツインストラクター等 1学期（14時間×2単位） ・ オリエンテーション ・ 受験校調べ・受験対策 ・ スポーツ経営学（鈴鹿大学との連携） ・ 体育理論・トレーニング理論　　［履正社医療スポーツ専門学校へ依頼］ ・ テーピング・怪我の予防等トレーナー研修　［甲賀健康医療専門学校へ依頼］ 2学期（15時間×2単位） ・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ・クイックターン） ［鈴鹿スイミングクラブへ依頼］ ・ゴルフ実習 ・ 受験種目・教員採用試験種目練習 ・AED実習（鈴鹿消防との連携） ・武道実習 3学期　個別に受験指導をする ※年度初めに、選択者には必要経費（スイミング・テーピング講習等）を説明する。軽スポーツ・テニス・バドミントン・ゴルフ・スキー・スケート等時間があれば指導する。				
到達目標	・受験実技の習得 ・スポーツ専門知識の理解				
評価方法	・関心、意欲、態度　・思考判断　・技能　・知識理解				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造コース	選択体育		オリエンテーション		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			体育理論			■	■																															
			スポーツ経営学						■	■																												
			テーピング・怪我の予防等トレーナー研修								■																											
			体育理論・トレーニング理論									■																										
			AED実習											■																								
			水泳実習																■	■	■																	
			ゴルフ実習																			■			■	■												
			武道実習																								■											
			教員採用試験研修																									■										
			受験指導																											■	■	■	■	■				

授業科目	芸術　美術 Ⅰ				平成 30 年度 芸術科シラバス
履修 類･学年	3年	創造コース （選択）	単位数	2	
授業内容	・オリエンテーション ・美術基礎知識 ・デッサン基礎（絵画・立体表現分野） ・デッサン発展（絵画・立体表現分野） ・立体文字の制作 ・イラストの制作 ・和の工芸（工芸・デザイン分野） ・万華鏡の制作（デザイン・工芸分野） ・平面構成画（デザイン分野） （その他の制作、状況に応じて変更あり）				
到達目標	・卒業後、役立つように丁寧な制作態度を身に着ける。 ・美術の学習を通じて、表現する喜びや楽しさを経験する。 ・デッサンではさまざまな描画材料を使い、物の正確な形、本質を追及する態度を身につける。 ・作品の制作を通じて、思いを持って丁寧に制作し作品に愛着を持つ。 ・デザインの課題を通して、社会の中でデザインの在り方について考えを深める。 ・著作権法を知り著作物の保護について考える。 ・立体的なデザイン表現を知り、構成力・造形力を養う。 ・創作活動を通して表現力を身につける。 ・社会の中にある色彩や表現を発見し、発展させる力を身につける。				
評価方法	［単位修得要件］ 課題に要求される習熟度、作品の完成度、授業態度、出席日数、学年末の学科試験を加味し実技７０％、知識・理論３０％で評価する。				
使用教材	教科書　高校美術１・２　資料・配布プリント　他				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］ いままでに学んだ美術の基本的知識、技能。				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造	美術	美術基礎デッサン	オリエンテーション		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			色彩学			■																																	
			デッサン基礎				■																																
			美術史						■																														
		絵画	色鉛筆画着色						■	■																													
			水彩画着色1								■																												
			水彩画着色2									■																											
			万華鏡の制作											■																									
		デザイン	平面構成基礎																■																				
			平面構成練習																	■																			
			平面構成下描き																		■																		
			平面構成着色																		■	■			■	■													
		工芸	絵手紙の制作																								■												
			折り紙の知識																									■											
			折り紙の制作																									■		■									

授業科目	芸術　美術 Ⅱ				平成 30 年度 芸術科シラバス
履修 類･学年	3年	創造コース （選択）	単位数	2	
授業内容	・オリエンテーション ・美術知識 ・デッサン発展(絵画・立体表現分野) ・イラストの制作 ・万華鏡の制作(デザイン・工芸分野) ・選択課題 各自課題を設定して選択制作（油絵・インテリアデザイン・プロダクトデザイン） （その他の制作、状況に応じて変更あり）				
到達目標	・卒業後、役立つように丁寧な制作態度を身に着ける。 ・美術の学習を通じて、表現する喜びや楽しさを経験する。 ・デッサンではさまざまな描画材料を使い物の正確な形、本質を追及する態度を身につける。 ・作品の制作を通して、思いを持って丁寧に制作し、作品に愛着を持つ。 ・著作権法を知り著作物の保護について考える。 ・油絵・インテリアデザイン・プロダクトデザインなどの創作活動を通して表現力をつける。 ・社会の中にある色彩や表現を発見し、発展させる力を身につける。				
評価方法	［単位修得要件］ 課題に要求される習熟度、作品の完成度、授業態度、出席日数、学年末の学科試験を加味し実技７０％、知識・理論３０％で評価する。				
使用教材	教科書　高校美術２　資料・配布プリント　他				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］ 小・中・高校で学んだ美術の基本的知識、技能。				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造	美術2	美術基礎デッサン	オリエンテーション		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			色の3要素		■																																		
			デッサン			■																																	
			美術史				■																																
		選択絵画	油絵の理解							■	■																												
			油絵着色									■	■						■	■	■	■			■	■	■													
		選択デザイン	選択Aインテリアデザイン							■	■	■	■						■	■	■	■			■	■	■													
			選択Bプロダクトデザイン							■	■	■	■						■	■	■	■			■	■	■													
		工芸	絵手紙の制作																										■										
			万華鏡の制作																										■										

授業科目	コミュニケーション英語Ⅲ				平成 30 年度 英語科シラバス
学年・類(コース)	3学年	創造コース	単位数	4単位	
授業内容	教科書を中心に多種多様なトピックの英文を読む。また読んだ内容と自身の既知の情報とを関連付けたりすることによって、自分の意見を英語で書かせる。発音と綴りが一致させることや、リスニング力の向上を狙いとし、音声 CD で本文を何度も聞かせ、声に出して読ませる。 ①Do you know?で Listening を使った聞く活動 ②It’s your turn!での書く活動 ③本文の内容理解のためのペア/グループ活動 ④その他、副教材の使用により、初見の問題に対する応用力を培う				
到達目標	・音読することによって語彙の正しい発音とその意味を定着させることができる。 ・英語で書かれた文章の大まかな概要を捉えたり、英文を正確に読むことができる。 ・簡単な英語で話される英文を、写真や絵、与えられた情報をから聞き取ることができる。 ・簡単な英語で自分の考えや意見を論理的に書くことができる。				
評価方法	定期テスト，授業態度，小テスト及び提出物などから総合的に評価する。 定期テスト 70%、平常点 30%。				
使用教材	・BIG DIPPER English CommunicationⅢ ・BIG DIPPER English CommunicationⅢ　ワークブック ・VALUE1000 ・読解トレーニング ・リスニング教材未定 ・辞書				
その他	リスニングの教材においては､新形式に対応するため 6 月中旬頃に教材を決めたい。				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 創造	コミュニケーション英語Ⅲ	Lesson1,2			■	■		1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		Lesson3					■																																
		Lesson4							■																														
		Lesson5,6,7								■	■	■																											
		Lesson8,9,10												■					■	■																			
		Lesson11,12																			■	■																	
		Lesson13,14																						■	■														
		Lesson15,16																								■	■		■										

授業科目	英語表現Ⅱ（文系）				平成30年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	3学年	創造	単位数	4単位	
授業内容	・①「基礎・基本編」（２時間）、②「基礎から応用編」（２時間）と２つのパートに分けておこなう。 ①は英語の不得意な生徒向けに英語の語順を中心に基本構造を徹底的に見直す。 ②は基礎から応用まで大学入試頻出問題を演習する。 ・①②とも使用テキストの目次に沿って進めていくが、①についてはポイントチェックとそのドリル演習をおこなうために使用するのであって、ただ単に教材を順序よく進めていくだけではない。生徒の理解度・学習姿勢、その他生徒を取り巻く状況を見極め、自主教材を使って汎用性をもたせた学習をすすめていく。 ・リスニング練習（６月～１２月）をおこなう。 ・生徒のニーズによっては、進路保障ができるに必要な個別指導をおこなう。				
到達目標	・英語を日本語に機械的に変換するのではなく（またはその逆）、日本語の意味を正しく相手に伝えられるような表現ができるようにする。 ・自分の使えることば（日本語・英語ともに）を一語でも増やし、自分が発することばで言いたいことを正確に伝え、正しく受けとめることができるようにする。 ・とにかく１冊は仕上げ、学習者に一定の達成感を持たせる。 ・それぞれの課題に応じた学習に自主的に取り組めるよう、そのきっかけになるようリスニング練習をおこなう。				
評価方法	・定期考査点７０％、平常点３０％の割合で、各学期に評価点を算出する。 そして学年末においては、１年を通じての学習者の向上度（学習内容の理解度および学習姿勢・態度）も考慮し総合的な評価をおこなう。 　なお、平常点の内訳は、授業出席回数を基本に、①提出物の有無、②学習姿勢・態度（自らが発表する意欲とその態度があるか。）③積極的な授業への参加（対教師、または生徒同士のお互いのやりとりを通じて、日本語で、あるいは英語で伝えたいことが伝えられるか。）以上の観点とする。				
使用教材	・２１ラーナーズ英文法/ ・ラーナーズ高校英文法[数研出版]昨年から継続使用 ・英文法エッセンシャルノート[増進社] ・スクランブル英文法・語法 Basic、2nd Edition トレーニング問題集[旺文社]				
その他	・自主教材（学習内容に応じた演習ドリルをおこなう。） ・生徒の積極的な希望があれば、それに応じた個別演習をおこなう。				

進度表については、①「英文法エッセンシャルノート」、②スクランブル英文法・語法 Basic、2nd Edition トレーニング問題集の2種を裏面に提示する。

① 「英文法エッセンシャルノート」

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造文系	英語表現Ⅱ	1～16	名詞・冠詞・代名詞・be動詞・一般動詞・助動詞・形/副詞・命令文・疑問詞・感嘆文					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		17～30	進行形・受動態・現在完了・比較・不定詞・動名詞・分詞・前置詞・接続詞																																				
		31～42	関係代名詞・間接/付加疑問文・itの用法・文型・過去完了・分詞構文・関係副詞・仮定法																																				
		総合復習	ワンポイントで見直し練習をおこなう。																																				

＊リスニングの練習（6月～12月）をおこなう。

②スクランブル英文法・語法 Basic、2nd Edition トレーニング問題集

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造理系	英語表現Ⅱ	第1章～第7章	動詞・文型・時制・受動態・助動詞・不定詞・動名詞・分詞					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		第8章～第18章	仮定法・名詞/冠詞・代名詞・関係詞・形容/副詞・比較・接続詞・強調/倒置/省略・動詞イディオム																																				
		第19章～第23章	形/副詞イディオム・名詞イディオム・前置詞イディオム・会話・語																																				
		ポイント復習	ワンポイントで苦手事項の復習をおこなう																																				

上段：①英文法エッセンシャルノート（基礎基本事項確認）

下段：②スクランブル英文法・語法 Basic、2nd Edition トレーニング問題集（大学進学向け演習）

授業科目	英語表現Ⅱ（理系）				平成30年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	3学年	創造	単位数	2単位	
授業内容	・英語の不得意な生徒向けに英語の語順を中心に基本構造を徹底的に見直す。 　使用テキストの目次に沿って、その文法配列項目にしたがって進めていくことになるが、テキストはポイントチェックとそのドリル演習をおこなうために使用するのであって、ただ単に教材を順序よく進めていくだけではない。 　生徒の理解度・学習姿勢、その他生徒を取り巻く状況を見極め、自主教材を使って汎用性をもたせた学習をすすめていく。 　また、生徒の進路にかかるニーズに合わせて補習や個別指導をおこなう。 ・日本語と英語音のちがいに慣れるようリスニング練習をおこなう。 ・進路保障という観点から生徒のニーズに応じた個別指導をおこなう。				
到達目標	・英語を日本語に機械的に変換するのではなく（またはその逆）、日本語の意味を正しく相手に伝えられるような表現ができるようにする。 ・自分の使えることば（日本語・英語ともに）を一語でも増やし、自分が発することばで言いたいことを正確に伝え、正しく受けとめることができるようにする。 ・２学期前半で共通教材を仕上げ、学習者に一定の達成感を持たせ、後半は苦手ポイントの応用演習をおこなう。 ・英語音に慣れ、短い英文の内容を聞き取れるようにする。				
評価方法	・　定期考査点７０％、平常点３０％の割合で、各学期に評価点を算出する。 そして学年末においては、１年を通じての学習者の向上度（学習内容の理解度および学習姿勢・態度）も考慮し総合的な評価をおこなう。 　なお、平常点の内訳は、授業出席回数を基本に、①提出物の有無、②学習姿勢・態度（自らが発表する意欲とその態度があるか。）③積極的な授業への参加（対教師、または生徒同士のお互いのやりとりを通じて、日本語で、あるいは英語で伝えたいことが伝えられるか。）以上の観点とする。				
使用教材	・２１ラーナーズ英文法/ ・ラーナーズ高校英文法[数研出版]昨年から継続使用 ・英文法エッセンシャルノート[増進社]				
その他	・自主教材（学習内容に応じたドリル形式の問題を準備する。） ・生徒の積極的な希望があれば、それに応じた個別演習をおこなう。				

① 「英文法エッセンシャルノート」＊リスニングの練習（6月～12月）をおこなう。

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年創造文系	英語表現Ⅱ	1～16	名詞・冠詞・代名詞・be動詞・一般動詞・助動詞・形/副詞・命令文・疑問詞・感嘆文					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		17～30	進行形・受動態・現在完了・比較・不定詞・動名詞・分詞・前置詞・接続詞																																				
		31～42	関係代名詞・間接/付加疑問文・itの用法・文型・過去完了・分詞構文・関係副詞・仮定法																																				
		総合復習	ワンポイントで見直し練習をおこなう。																																				

授業科目	英語表現Ⅰ（選択）				平成 30 年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	3学年	創造	単位数	2	
授業内容	・平易な英文の音読と読解 ・文法事項の説明及び練習問題 ・授業を理解しやすくする補助プリントでの学習 ・音声を使い正しい発音の学習 ・リスニング、ディクテーション				
到達目標	英語を通じて，コミュニケーション力の育成を図る。自分の意見を適切な表現を使って伝えられるようにする 具体的言語活動 ①　与えられた話題について意見を簡潔に話す。 ②　読み手や目的に応じて，簡潔な英文を書く。 ③　学習した表現を使用し、自らの意見を論理的に簡潔に表現する。				
評価方法	定期考査，授業態度，小テスト及び提出物などから総合的に評価 評価の観点は下の４つ ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②外国語表現の能力 ③外国語理解の能力 ④言語や文化についての知識・理解				
使用教材	英語総合問題集 Wonderland New Edition				
その他	紙ベースの辞書、電子辞書を適宜使用				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
3年 創造	英語表現Ⅰ選択	Unit1	時制					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験
		Unit2	時制																																		
		Unit3	完了形																																		
		Unit4	助動詞																																		
		演習	英検準2級レベル																																		
		Unit5	受動態																																		
		Unit6	不定詞																																		
		Unit7	不定詞																																		
		Unit8	動名詞																																		
		Unit9	分詞																																		
		Unit10	関係代名詞																																		
		演習	英検準2級レベル																																		